

おこめはぼくのがぞく

ひらがなが、こう一年小久保 五斗

うわっ、きもちわるい。

ぼくは、はだしになっで、ドロドロだらけ
のたんぼに、あしをいれました。はるに、た
うえをしたときのことです。どろは、ぬるっ
としていて、すべりそうでした。でも、あた
たがいところもあつて、なれたりすこしも
ちよくなりました。

それから、みどりのなえをうえました。な

えなぐっとしたにうえたら、どろにかおがつ
きそうで、こわかつたです。

あきには、いねかりにいぎました。ちいさ
か「たみどりのなえが、きいろになつて、お
おきくなつていました。三さいのおとろが
たんぼにはいったら、みえなくなつてしまい
ました。びっくりしたけど、おおきくなつて
いて、ぼくはすぐくうれしかつたです。

おこめがでるのをみて、ぼくは、おこめ
はぼくのがぞくみたいだなとおもいました。

しろいおこめのつぶは、おとうと。だつてち
いさくて、かわいから。うえるなえはほく。
だつてセガひくいから。おおきくなつたみど
りのなえは、おにいちゃん。だつてセガたか
くて、げんきいっぱいだから。まいろになつ
たおおきないねは、おとうさんとおかあさん。
だつていちばんおおきくて、がつこいりから。
まいろいいねのつぶは、おいしいちゃんと
おばあちゃん。だつてしあだから。おい
いちゃんとおはあちゃんにいつたら、

「やだわ、でもほんとうにそうだね。」
「て、おおわがいました。」
「すごくおもしろくて、ぼくは、もつともつ
とおこめがすきになりました。」